

ふれあいの森

⑥ふれあい広場

ふれあい広場は、植物や魚等生き物と共に水に親しめるように整備されたものです。中央を流れる引地川は、失われたふるさとの川の姿が復元され、なつかしい河原や洲もつくられています。緑や花に囲まれた中で休息することができる広場です。



⑦緑の見本園

四季を通じて花や樹木を楽しむよう、花壇や生垣・花木・グランドカバー・野草類などが見本展示されています。



⑧親水広場

その名の通り水と親んでもらえるような池や小川、滝などがあり、「深さの変わる池」や「三分一」などの仕掛けがあります。春には、シバザクラが観賞できます。



⑨大和市グリーンアップセンター

TEL 046 (263) 8711

みどり豊かな潤いのあるまちづくりのための拠点となる施設です。庭木や草花の手入れなどを学ぶ研修室、展示や催物の場としてグリーンギャラリーの他に、緑に関する資料や本を集めた図書コーナーや緑に関する専門の相談員がお答えするみどりの相談コーナー等が常設されています。



(月曜及び年末年始休館)

ふれあいの森

ふれあいの森 (面積約9ヘクタール)

ふれあいの森は、泉の森を水源とする引地川沿いに広がる豊かな自然と、大和駅から続くプロムナードの賑わいと接続に位置し、水と緑と花のふれあうコミュニティの核となる森です。「近自然工法」と呼ばれる手法で復元された引地川は、柳と草と木々におおわれ、川遊び、魚とりもできるようになっています。その他、水と緑と花をテーマとしたさまざまな施設があります。

大和市

泉の森

泉の森 (面積約42ヘクタール)

泉の森は、引地川の源である大和水源地を中心に広がる、大和市の自然の核として位置づけられている森です。かながわトラスト緑地に指定され、神奈川県・大和市・(財)かながわトラストみどり財団の三者で豊かな自然の保全が図られています。樹林地と水辺空間が特色ある生態系を形づくり、約450種の植物や約50種の野鳥をはじめ、生き物たちが生息しやすい環境を育んでいます。四季折々、生き物の自然観察に最適な場所です。

大和市

泉の森

①湿生植物園

緑のかけ橋から上流はタコノアシやハンゲショウなどの湿生植物が観察できます。下流はショウブ田となっており、ハナショウブ、アヤメが植栽され5~6月にかけて観賞できます。



②緑のかけ橋と水車小屋

泉の森のシンボルである「緑のかけ橋」は、調整池の東西を結ぶ木製の斜張橋です。橋上からは、ハナショウブ・野鳥等の観察ができます。水車小屋では、直径3.64mの水車が回ります。

③大和市郷土民家園 TEL 046 (260) 5790

江戸時代中期と末期に創建された民家2棟(市指定重要有形文化財)が移築復元され、屋内には農作業用具等が展示されています。(月曜及び年末年始休園)



④泉の森ふれあいキャンプ場

TEL 046 (260) 5795



青少年が自然とふれあい、野外炊事等の生活を通し、心豊かな人間性を培うことを目的とした施設です。(12月~2月の平日及び年末年始休場)

⑤大和市自然観察センター・しらかしのいえ

TEL 046 (264) 6633

自然をメインテーマとし、泉の森を中心に大和の自然を守り、育てていくためのさまざまな活動拠点となる施設です。植物や昆虫・野鳥といった身近な生物やそれらを取り巻く環境を観察したり、今ある自然と人間とのかかわりあいを学んだり、幅広い「自然」をテーマにした活動を行っています。(月曜及び年末年始休館)

